

## 黒田庄まちづくり協議会より 〈黒田庄子ども見守り活動隊発足会開催〉

第155号4月

去る3月20日(水)に黒っこプラザに於いて、黒田庄子ども見守り活動隊発足会を開催しました。

最初に黒田庄まちづくり協議会藤原会長があいさつと子ども見守り活動趣旨説明を行い、続いて来賓の西脇市笹倉教育長のあいさつや西脇警察署署員や小・中学校校長より激励の言葉をいただきました。その後、子ども見守り活動DVD鑑賞や活動グッズの配布を行いました。

現在、84名の方に登録いただいております。小・中学校の新学期から下校時等の見守り活動をしていただいております。



発足会の様子



配布グッズ



## 〈黒田庄まちづくり協議会理事会開催〉

去る3月26日(火)に黒っこプラザに於いて、黒田庄まちづくり協議会の理事会を開催しました。理事会は、会長・副会長・理事(区長・部会長・副部会長)で構成しています。

平成30年度事業・会計決算見込み報告、協議会構成団体等活動費の交付状況について報告しました。また、今年度のまちづくり活動の総括や来年度に向けての検討を行いました。

事業報告では、『地域交流部会』の第41回にしわき市・黒田庄夏まつり、黒っこふれあい広場利活用の第8回黒田庄軽トラ市など、『くらし安心部会』の福祉送迎車運行事業、防災体制づくりの防災講演会、高齢者等の健康づくりのインドヨガ教室、防犯体制づくりの子ども見守り活動の推進、『観光・特産部会』の特産品の開発・PRの特産品開発グループ「黒っ娘おぼんざい」の結成、観光レクリエーションゾーンづくりの秋谷公園遊歩道景観づくり、黒田庄駅舎「あつまっ亭」周辺の活性化など、『広報部会』の黒田庄つうしんの発行、Facebookの作成などの報告がありました。

来年度に向けての検討として、黒田庄まちづくり協議会構成団体等活動費運用規程の改正、福祉送迎車運行事業実施規程の改正、黒田庄駅舎「あつまっ亭」の活性化について協議しました。



編集・発行  
黒田庄まちづくり協議会  
西脇市黒田庄町前坂2140番地  
Tel. 28-2121  
平成31年4月15日発行



### 黒田庄地区の人口

(H31.4.1現在)

男 3,286

女 3,487

計 6,773

世帯数 2,628

人口前月比 (-21)

(2)

## 平成31年度黒田庄地区区長会の紹介

今年度の黒田庄地区区長会は次の方々です。(敬称略)

### 【役員】

会 長	藤 本 恭 造		
副 会 長	杉 原 慶 一	副 会 長	坂 本 政 和
会 計	大 山 岩 一	会 計 監 査	西 村 忠 行



集 落 名	区 長 名	集 落 名	区 長 名
喜 多	杉 原 慶 一	西 澤	飛 田 正 義
大 門	藤 井 建	石 原	吉 本 豊
津 万 井	石 井 能 男	田 高	荻 野 芳 樹
福 地	村 上 勝 則	船 町	西 村 忠 行
岡	松 本 芳 和	小 苗	津 瀬 秀 一
門 柳	村 上 辰 巳	黒 田	森 脇 弘 己
大 伏	大 山 岩 一	前 坂	坂 本 政 和

黒田庄地区区長会は、会員相互の連絡調整を図るとともに、西脇市行政機関との関係を密にし、区長会の円滑な運営と豊かな地域づくりに寄与することを目的として、次のような事業が行われます。

- (1) 西脇市の行政施策を研究し、これに協力する。
- (2) 市行政に対して必要な事項を建議する。
- (3) 地区まちづくり事業の推進と自治会活動の活性化を図るための事業。
- (4) その他本会の目的を達成する必要な事業。



総会の様子

## 川代ダム管理所管理演習のお知らせ

篠山市大山下にある川代ダムに於いて、梅雨や台風に備え、下記の日時に川代ダム上流で洪水が発生したことを想定した管理演習が行われます。

管理演習では、警報車による周知活動やサイレン吹鳴試験が行われる予定です。

日時：令和元年5月8日(水) 午後1時から午後4時まで

場所：川代ダムから篠山川・加古川合流点まで



川代ダム



寒暖差の厳しかった3月が嘘のような気候になってきました。桜が満開になり、道路わきにはタンポポやつくしがぐんぐん大きくなってきました。工房利用者の皆さんも気温の上昇と共に会話も行動も活発に明るくなってきました。新元号も決まり高揚感溢れる中、本年度も利用者の皆さんと一緒に頑張りますのでご支援をよろしくお願い致します。

当虹の会工房だより平成29年3月号(No. 232号)で『最近、「障害者」という表記が「障がい者」となっている書類が増えました。まれには「障害(ガイ)者」と表記されたものも有ります。』という内容の文章を記載しました。ところが、先日4月2日の朝日新聞によると『宝塚市では公文書などの「障害」の表示を「障碍」に改める取り組みを始めた。』とありました。常用漢字ではない「碍」の字を公的に使う自治体は全国初になるそうです。「害」に対しては、これまでも不快に思う人がいると言われてきました。障がい者に対する思いとして注目したいと思います。前回も記載しましたが、どちらにしても大切なのは言葉ではなくその人の意識です。「しょうがいしゃ」に対する偏見から脱することを言葉の問題に替えてしまうことのないようにしたいものです。

西脇市の「春のカルチャーフェスティバル」に出展した生活介護の皆さんの作品が入選しました。皆で作品展を見に行きました。



## <黒田庄こども園ニュース>

### <さあ、2019年度のスタート!!>

3月25日(月)に、42名の卒園生を涙々で送り出し、4月5日(金)には、新入園児を含め、141名で「黒田庄こども園」の2019年度がスタートしました。

こども園になって3年目の春です。

2019年度の途中に0歳児や1歳児が入園してくる予定ですので、全部で146名の園児になります。4歳児からの運動あそびの導入や小学校他関係機関・団体、子育て支援グループとの連携を深めながら、地域に根ざした黒田庄こども園の園児を育てるために、【共育ち】をモットーに、今年も職員一丸となって頑張りたいと思っています。

地域のみなさんの温かいご支援を受けながら、感謝の気持ちを忘れず、共に育ってまいりたいと思っておりますので、今後ともよろしくお願い致します。



<2019年度、入・対面式:アンパンマンより>

(4)

## 黒っ娘おばんざいより

昨年の8月にスタートした「黒っ娘おばんざい」。4月で8ヶ月が過ぎました。スタート時より徐々に弁当等の注文も増えてきています。今年の1月からは、毎週水曜日に黒っこプラザロビーにて巻きずし・惣菜の販売がスタートし、同時に旬菜館で巻きずしの販売が始まりました。現在では、道の駅(田空)でも、巻きずしの販売をしています。

毎週水曜日！

黒っこプラザロビーにて販売

販売時間：午前11時～午後1時

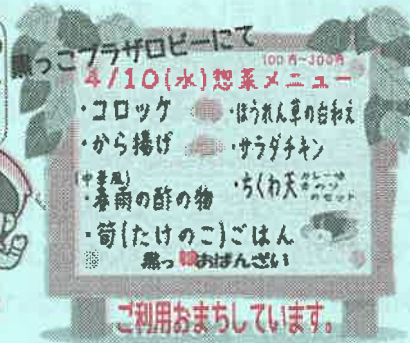
巻きずし

・黒っ娘巻き、七色巻き

惣菜(各種)

その週により種類が変わります。

毎週水曜日は・・・旬菜館 道の駅(田空)にて巻きずし・七色巻き販売しています。



フェイスブック画像

地元の食材を使った、コロッケ・から揚げが大人気です！



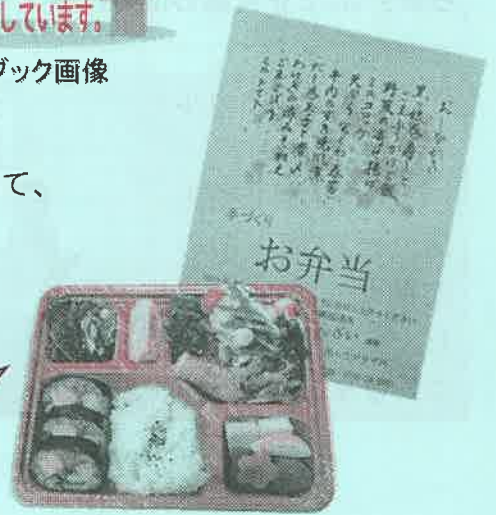
道の駅(田空)



旬菜館

道の駅(田空)・旬菜館にて、毎週水曜日、巻きずし(黒っ娘巻き・七色巻き)を販売しております！

ご意見・ご感想をお聞かせ下さい。お電話でもかまいません。



お弁当の注文も承っております。(10個から)



「黒っ娘おばんざい」は、黒田庄ビーフを使った食品、惣菜“黒田庄に〇〇あり！”の食で地域の輪を広げ、地域外へも広げていく新たな活動に取り組んでいるグループです。

「黒っ娘おばんざい」

直通電話0795-28-3201

(お弁当等ご注文・お問合せの場合は直通電話におかけください。)

### 編集後記

昨年の1月に国道175号西脇北バイパス「(仮称)津万井トンネル」工事の安全祈願祭があり、それ以降、トンネル工事が着々と進み、今年の2月2日に国道175号西脇北バイパス「(仮称)津万井トンネル」貫通式がありました。岩が多く発破での掘削となりましたが、1年間かけて延長756mのトンネルが貫通しました。

貫通式が終わった帰りの車中で、「今の建設技術はすごく進んでいるなあ！」と思いながら、黒田庄から丹波市までのバイパス早期完成に期待しました。

Y. I